

# DAIGO

八代市立第五中学校

学校だより

令和6年5月8日

文責：校長



Dream (夢)・Advance (前進)・Innovation (創造)・Growth (成長)・Originality (自分らしさ)

学校教育目標：「生徒の夢を育み、生徒と地域の未来を創造する教育～成長を実感できる学校～」

## 新緑の5月 ～五中生の成長に期待～

連休が明けました。5月は新緑の時期、木々や草花も大きく成長する時期です。植物は根を張って地中から養分を吸収したり、葉を広げて太陽の光を浴びて光合成をしたり、必要な栄養を取り入れていきます。人も同じく、成長していくためにたくさんの栄養を吸収していく必要があります。5月は教育活動も本格的になってきます。授業はもちろん、1年生の集団宿泊教室では仲間づくりと同時に環境や人権について学ぶ機会になります。全校生徒が取り組む集団行動コンクールでは声を出し、体を動かすことを通して、思考・判断力も身につけていきます。生徒総会に向けた取組では自主性を育てていくことにつながります。部活動も6月に行われる中体連大会までにしっかりと準備をしていく時期になります。様々な活動に積極的に取り組み、多くのことを学び、五中生のみなさんが成長していくてくれることを期待しています。



## 学校教育目標 ～ご理解とご支援を～

今年度の学校教育目標を次のように設定しました。

生徒の夢を育み、生徒と地域の未来を創造していく教育  
～成長を実感できる学校～

「過去の教育・学び」により「現在の姿」があり、「現在の教育・学び」が「未来の姿」につながっていくと考えます。一人一人が将来を見据え、自分なりの夢や目標を育てていくことで目の前の取組に主体的に臨み、様々な力をつけていくことになり、主体性が育ち、生きる力を身につけていくことで、生徒の未来が拓けていきます。地域（高田校区）の未来も五中生の成長にかかっています。保護者や地域の方々と協力しながら、本校での教育活動を充実させ、学校教育目標の実現に努めていきたいと考えています。どうぞ、よろしくお願ひします。

## 香(久)の木の実 ～歴史と伝統を感じる～

先日、高田小学校の創立150周年記念誌「香久の木の実」を拝読させていただきました。明治5年に高田校区に温知学舎という学び舎が創られ、翌年の学制発布で高田小学校と呼ばれるようになったということが書かれており、高田地域の先人の方々の教育への熱い思いを感じました。また、「コダミン」誕生の秘話も興味深く読ませていただきました。

記念誌のタイトルにもなっている「香(久)の木の実」は、五中校歌の歌い出し「♪遙拝峡の故事や 香の木の実の香に残る～」、高田小校歌の歌い出し「♪見よかがやかに照る珠の 香久の木の実のその如き～」にも出てくる「高田みかん」のこと。調べてみると1600年ほど前、中国から持ち帰られたミカンを九州（高田）におられた景行天皇に献上したとのこと。その後も朝廷や幕府に献上され、現在全国的な産地になっている和歌山県や静岡県のみかんのルーツにもなっているそうです。高田地域の歴史と伝統を改めて感じました。高田ってすごいところですね。



## お礼の電話 ～心優しい五中生～

連休前半が明けた日、地域の方から学校に電話がありました。電話は、次のような内容でした。地域の方が体調を崩され、救急車がくるのを待たれていた時、近くを通りかかった五中生がその方の様子を心配してかけより、救急車が到着するまで寄り添ってくれたとのことでした。電話をかけてこられた方は「とても心強く感じ、ありがたかったです。感謝の気持ちを伝えたくて電話しました。」と話されました。心優しい五中生が育ってくれていることをとてもうれしく思います。